

パブリックプログラム

～岡山の人・場・文化を開き、発信する～

パブリックプログラムとは、「岡山芸術交流」が地域に開かれ、根ざし、持続・発展することを目的に、岡山内外の人・場所・文化資産の3つのポテンシャルを活かした様々な企画。“人や場所の発掘と関係性の構築”と“文化資産の活用と発信”を目指して、岡山の人や場所との関係を深化・発展させるとともに、新たな連携・協働プログラムを開発・実施。

◆岡山芸術交流の基盤整備に関するシンボルイベント

アーティストトーク

開幕日に合わせ、アーティストックディレクターのリクリット・ティラヴァーニヤをはじめ、参加アーティストによるトークイベントを開催。それぞれの創作活動や、本展覧会に対する想いなどを語り合った。

開催日時	会場	登壇者	参加者数
9月30日(金) 14:00～15:30	岡山県立 美術館ホール	リクリット・ティラヴァーニヤ(アーティストックディレクター) ダニエル・ボイド マイリン・レイ アジフ・ミアン プレシャス・オコヨモン バルバラ・サンチェス・カネ 島袋道浩 曾根裕 梁慧圭(ヤン・ヘギユ) 〈司会進行〉木ノ下智恵子	100人

※別途YouTubeLive・Archive配信あり(再生回数718回)

クロージングイベント ラウンドテーブル「世界が変わる、今、国際展と芸術祭の課題と可能性とは」

展覧会最終日に批評家の浅田彰、アートプロデューサーの小崎哲哉、国際芸術祭あいち2022の芸術監督である片岡真実を迎えトークイベントを開催。同年に開催された国際展を考察するとともに、都市型国際展の意義や課題、その可能性について語り合った。

開催日時	会場	登壇者	参加者数
11月27日(日) 17:30～19:30	蔭涼寺	浅田彰(批評家/京都芸術大学教授・ICA京都所長) 小崎哲哉(アートプロデューサー/ジャーナリスト) 片岡真実(国際芸術祭あいち2022芸術監督/森美術館館長) 那須太郎(岡山芸術交流2022総合ディレクター) 〈司会進行〉木ノ下智恵子	50人

※別途YouTubeLive・Archive配信あり(再生回数2,457回)



アーティストトーク



クロージングイベント

VII パブリックプログラム・イベント・連携事業

パブリックプログラム

◆本展テーマ、アーティスト、作品の拡張プログラム

ジャーナルプロジェクト

岡山県内の学生5グループが、岡山芸術交流2022をそれぞれの視点で取材し、新聞としてとりまとめたものを表町商店街に掲示した。学生たちは事前に新聞づくりの基礎を学び、展示会場での作品鑑賞や来場者へのインタビューを通し、岡山芸術交流2022の楽しみ方や自分たちの想いなど、学生独自の視点で新聞を制作した。

参加グループ：岡山市立岡山後楽館高等学校、総社市立総社中学校美術部、岡山県立大学デザイン学部岡北研究室、屋久島おおぞら高等学校、ノートルダム清心女子大学

参加人数：22名

事前講座：9月3日(土) [1部]10:00~12:00 [2部]14:00~16:00

取材日：9月29日(木)~10月2日(日)

展示期間：10月31日(月)~11月27日(日)



新聞社の講師を招き、取材や記事のポイント等を学んだ。



作品鑑賞や来場者へのインタビューにより、新聞を作成するための情報収集を行い、原稿としてまとめた。



多くの人立ち止まって新聞を読む光景が見られた。



岡山市立岡山後楽館高等学校



総社市立総社中学校美術部



岡山県立大学
デザイン学部岡北研究室



2022年11月17日
山陽新聞 文化(15頁)

制作した新聞の一部が、4回に渡って山陽新聞に掲載された。



屋久島おおぞら高等学校



ノートルダム清心女子大学

パブリックプログラム

公募事業

展示会に関する新たなパートナーの発掘や開催エリア全体での機運の盛り上げを図るため、プログラムを公募し、6事業を実施した。

IAPK 2022 in Okayama

拡張現実(AR)で見るショートムービー制作ワークショップ

岡山芸術交流2022の展示会場をリサーチ後、ワークショップ参加者が協働でショートムービーを制作。会場間の商店街や店舗に設置したポスターの写真を読み取ると、まるで写真が動き出すかのようなAR映像としてみる事ができた。

開催期間	事業実施主体	開催場所	参加者数
10月26日(水)~ 11月27日(日)	Interdisciplinary Art Project Kobe(IAPK) 実行委員会 韓成南	岡山市内一帯	延べ1,200人



アートプロジェクトを「伝える」ラボin岡山

アートプロジェクトや地域の魅力を写真と文章で伝えるため、基礎的な知識や事例をレクチャーするトークイベントを開催。ワークショップでは、岡山芸術交流2022の来場者に配布するフリーペーパーをテーマとして、どのような記事を作成すると効果的か意見交換を行った。また、その成果を踏まえ、有志にてZINE(フリーペーパー)を作成し、会場で配布した。

開催日時	事業実施主体	開催場所	参加者数
10月16日(日) 14:00~16:00	一般社団法人 ノマドプロダクション 橋本誠	岡山市市民会館 (北区丸の内)	11名



哲学トークライブ&芝居上演会

「私たちは表町でどんな夢をみているのだろうか?」~表町キュレーションズの場合~

会場エリアにある表町商店街にて哲学トークライブを実施。小学生から70歳までの参加者が、岡山芸術交流2022のタイトルにちなんで「夢」について自由にディスカッションを行った。また、芝居の監督や演者、主催者の「夢」についても共有したうえで、後日上演会を行った。

開催日時	事業実施主体	開催場所	参加者数
[トークライブ] 10月21日(金) 19:00~20:00	表町キュレーションズ 三宅直人	岡山自主夜間中学校 (北区表町)	155人
[芝居上演会] 11月13日(日) ①14:00~②17:00~		テラエンタテインメント スタジオ(北区田町)	



パブリックプログラム

駅前「地球儀」プロジェクト

～岡山芸術交流のメインテーマを駅前噴水へのプロジェクションマッピングで視覚化する～

岡山芸術交流2022の展覧会タイトルを可視化することを目的として倉敷芸術科学大学でワークショップを開催。タイトルから感じるイメージを地球の形で描画することとし、学生や子どもたちが描いた作品を映像化して噴水の土台部分に投影するインスタレーションを展開した。また、投影実験や映像編集の様子をYouTubeチャンネルで公開し、1,600回を超える再生回数を記録した。



開催日時	事業実施主体	開催場所	参加者数
11月12日(土) 17:30~19:30	倉敷芸術科学大学 中川浩一研究室 中川浩一	「ふれあいの泉」 岡山駅前噴水	50名

「ともに生きる」を考える:アピチャップン・ウィーラセタクンとリジア・クラークを巡るワークショップ

岡山芸術交流2022の作品への理解を深めるため、参加作家であるアピチャップン・ウィーラセタクンとリジア・クラークの研究を行う二人の専門家を招き、作家の出身国、文化的背景や造形思想についての解説を行った。

また、クラークの研究者が作品《カニバリズム(Canibalismo)》(1973)からインスピレーションを受けたパフォーマンスを披露した。



開催日時	事業実施主体	開催場所	参加者数
11月19日(土) 16:00~19:00	芸術学研究者/京都教育大学 松本理沙	CCCSCD (北区石関町)	8名

After 6 Exhibition and More

市内外から岡山芸術交流を訪れる鑑賞者に対して、展覧会だけでなく岡山の豊かな食文化も楽しんでいただくため、会場地図に地元ソムリエやアーティストックディレクターのおすすめ飲食店を掲載したリーフレットを作成。会場や掲載飲食店で配布した。リーフレットは日英併記、ベジタリアンメニューの有無や英語対応可否などの情報も記載した。



開催期間	事業実施主体	開催場所	参加者数
9月30日(金)~ 11月27日(日)	wineshop&stand slowcave 渡邊隆之	市内26店舗	約1,200人

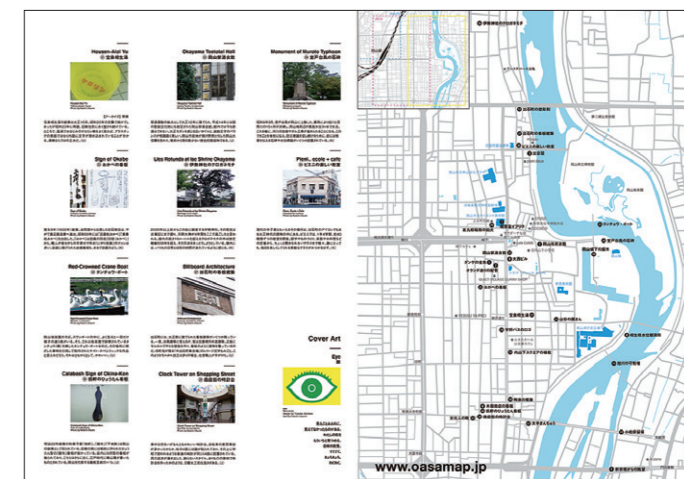
パブリックプログラム

岡山芸術交流オルタナティブマップ

協働/桑田奈美枝(Satellite/ギャラリスト) 軸原ヨウスケ(COCHAE/デザイナー) 内海慶一(著述業/ライター)

岡山のリノベーション文化やカフェ文化、高い文化受容力をもつ市民性をベースに、市内を回遊しながら岡山の魅力を“発見・探求・伝播”していくため、街に点在する多種多様な見どころを独自の視点で紹介するマップ。

岡山芸術交流2016において3部構成で発行したオルタナティブマップ(第一弾「発見」美術館エリア/第二弾「探求」西川エリア/第三弾「伝播」奉還町エリア)をまとめて1つの冊子として発行。



OKAYAMA:OUR RECOMMENDATION

岡山のカルチャーシーンに着目し、岡山県を“備前、備中、美作”の3つのエリアに分けて、各エリアの特徴とともにさまざまなスポットやイベントの名称と住所情報を掲載した媒体を発行した。QRコードからはウェブサイト上でマップや詳細情報を参照することができるようにした。

パブリックプログラム

クロージングイベント「大集合！リクリットの芝生に人文字をつくろう！」

展覧会タイトルが芝生に描かれたリクリット作品「DO WE DREAM UNDER THE SAME SKY」に200人の参加者が集まり、岡山芸術交流のロゴマーク「OK」を人文字で描いた。

開催日時	場所	参加人数
11月26日(土) 11:00~11:30	旧内山下小学校校庭	200人

大集合！
リクリットの芝生に
人文字をつくろう！

「Do we dream under the same sky / 僕らは同じ空のもと 夢をみているのだろうか」という展覧会タイトルが刻み込まれたリクリットの芝生作品。岡山芸術交流2022のオープニングイベントとして、リクリットと子どもたち「OK」を人文字で描きました。芝生には、子どもたちが描いた人文字の「OK」が描かれ、大人も子どもも一緒に人文字を描きました。この芝生の上で、最後にみんなで人文字を描き、ドローンで撮影をします。みなさん楽しんでください！

岡山芸術交流2022 PUBLIC PROGRAM

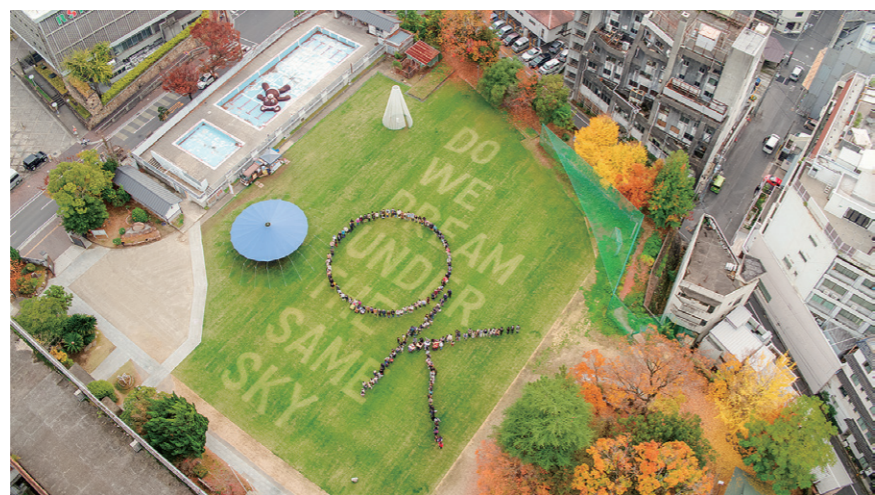
開催日時 2022年11月26日(土)
時間 11:00-11:30(受付 10:30-11:00)
場所 旧内山下小学校校庭
参加人数 200名(先着順) 参加費無料
※参加費無料ですが、会場に到着するまでに徒歩15分程度の移動が必要となります。

先着200名様に公式グッズプレゼント！
参加人数 200名程度
受付時間 11:00-11:30
申し込み 不要

※会場には、展示作品やワークショップの案内板が設置されています。
※会場には、展示作品やワークショップの案内板が設置されています。
※会場には、展示作品やワークショップの案内板が設置されています。

主催 岡山芸術交流実行委員会
協賛 岡山県立美術館

okayama art summit 2022
岡山芸術交流2022



ドローンで撮影した写真と動画を公式ウェブサイトへ掲載した。



200人みんなで作った「OK」。人文字が完成した時には拍手が起った。

パブリックプログラム

◆鑑賞支援

子どもナビと楽しむアートツアー

一般社団法人みるを楽しむ！アートナビ岡山(※)との協働により、子どもたちが独自の視点で作品の世界を深めナビゲートするアートツアーを実施した。子どもナビゲーターが大人をナビゲートできるように、事前ワークショップで作品鑑賞の楽しさなどを学び、自分の言葉で作品の魅力や伝え、参加者の意見を引き出す声かけなどの練習をして本番に臨んだ。

※作品を複数人でみて対話することで、一人では味わえない鑑賞体験ができる「対話型鑑賞」の手法を用いて鑑賞支援する団体。美術館や学校、企業研修などで活動している。

事前ワークショップ

開催日時	場所	子どもナビゲーター
10月16日(日) 9:30~12:00	旧内山下小学校	19名
11月 5日(土) 9:30~12:00		17名

ツアー本番

開催日時	場所	子どもナビゲーター	ツアー参加者
11月 6日(日) 10:30~12:00 14:00~15:30	旧内山下小学校	9名	19名
		9名	17名

子どもナビと楽しむアートツアー
子どもナビゲーター募集

11月6日(日) 募集人数 15名(先着順) 参加費無料
【募集対象】小学生～中学生(10歳以上) 10:30-12:00(受付開始10:00)
【募集場所】旧内山下小学校校庭(11月5日(土)9:30-12:00) 学校裏庭(11月6日(日)10:30-12:00)



事前ワークショップ1回目では、旧内山下小学校の作品をグループに分かれ鑑賞し、作品を見て感じたことや考えたことをグループ内で話し合ったり、自分の好きな作品を選んだりした。



事前ワークショップ2回目では、会場を実際に歩きながら、「作品の魅力はどう伝えるか」を考えナビゲートの予行演習を行った。



ツアー本番では子どもナビゲーターが3人1組のグループに分かれ大人をナビゲートした。ナビゲーターからは「自分の意見とは違う意見を聞く楽しさを知った」「最初はアート作品が好きではなかったが、好きになることができた」といった声が聞かれた。



ツアー参加者からは「子どもたちの考えや独自の視点を知ることができ、より作品の理解が深まった」「意見交換をすることで、自分の世界が広がり、アートを身近に感じる事ができた」といった声が聞かれた。

パブリックプログラム

「みる×対話」鑑賞ツアー

一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山による対話型鑑賞で巡るツアーを実施。旧内山下小学校で、作品の共通点や疑問点に注目しながら、参加者それぞれが作品を見て感じたこと、思い、気付きやイメージなどを自由に語り合いながら鑑賞した。

開催日時	場所	参加者数
10月 9日(日) 11:00~12:00 14:00~15:00	旧内山下小学校	12名 8名
10月10日(月・祝) 11:00~12:00 14:00~15:00	旧内山下小学校	14名 13名



岡山芸術交流紹介動画

岡山市教育委員会広報専門官こらぼん♪、ももこと一緒に現代アートや岡山芸術交流を楽しく学べる小学生向け動画を第1弾から第5弾まで作成し、YouTubeで配信した。

※来場校において、紹介動画を視聴した児童生徒数 約4,800人

内容	公開日
第1弾 これまでの岡山芸術交流	1月21日(金)
第2弾 今も残る岡山芸術交流の作品	4月 8日(金)
第3弾 これからの岡山芸術交流	9月19日(月)
第4弾 アーティストへのインタビュー	11月 9日(水)
第5弾 2022の展示の様子	11月22日(火)



アーティストインタビュー動画

展覧会に参加する7人のアーティストへ作品制作で大切にしていることや岡山の印象などについてインタビューを行い、YouTubeで配信した。ここでしか聞けない話や、人柄にも注目できる動画となった。



パブリックプログラム

◆学校連携

県内小・中学校、高等学校、特別支援学校等104校(延べ143校) 約7,300人の児童生徒が校外学習や部活動等で来場し、鑑賞を行った。

バス代の一部補助及び引率教員の鑑賞料金無料

事前申し込みのあった県内小・中学校・特別支援学校等を対象に、学校と会場間の往復交通費(団体バス代)の一部補助を行った。(1台あたり5万円を上限)また、引率の教員の鑑賞料金を無料とした。

鑑賞支援(鑑賞支援ナビゲーターによる対応)

希望のあった学校には対話型鑑賞(31校)や会場・作品案内(24校)を実施した。一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山の協力により鑑賞支援ナビゲーターを育成して学校の鑑賞支援を行った。

月日	学校	学年等	児童生徒数(引率者数)	備考
9月20日(火)	岡山市立岡山中央中学校	美術部	13人(2人)	アーティストとの交流会
9月29日(木)	岡山県立岡山芳泉高等学校	書道部	17人(1人)	書道パフォーマンス
9月30日(金)	岡山市立岡山中央小学校	2学年	119人(9人)	
	倉敷市立連島北小学校	5学年	19人(3人)	
	新見市立矢神小学校	1~5学年	22人(3人)	対話型鑑賞
10月 1日(土)	岡山市立岡山後楽館高等学校	1学年	3人(1人)	
	総社市立総社中学校	美術部	8人(1人)	
	屋久島おおぞら高等学校	2・3学年	4人(1人)	
10月 4日(火)	岡山市立旭操小学校	3学年	96人(6人)	案内
	岡山市立旭竜小学校	3学年	27人(3人)	案内
	岡山市立三敷小学校	3学年	92人(5人)	案内
	岡山市立竹枝小学校	全学年	23人(6人)	案内
	岡山市立政田小学校	1学年	29人(3人)	
10月 5日(水)	中国デザイン専門学校デザイン高等課程	1・2学年	27人(3人)	
10月 6日(木)	岡山県健康の森学園支援学校高等部	2学年	10人(7人)	
	倉敷市立第四福田小学校	5学年	95人(5人)	
	高梁市立成羽小学校	6学年	21人(3人)	対話型鑑賞
10月 7日(金)	岡山市立灘崎小学校	3学年	51人(6人)	
	岡山市立桃丘小学校	3~5学年	73人(8人)	
	岡山市立富山小学校	3学年	105人(8人)	
	玉野市立後閑小学校	1~4学年	11人(5人)	案内
	玉野市立八浜小学校	5学年	31人(2人)	案内
	倉敷市立粒江小学校	3学年	74人(6人)	案内
	浅口郡里庄町立里庄東小学校	3学年	51人(4人)	案内
	高梁市立富家小学校	全学年	22人(6人)	
	新見市立塩城小学校	1~5学年	23人(6人)	
	新見市立本郷小学校	全学年	89人(12人)	
	津山市立中正小学校	1~4学年	49人(6人)	案内
	岡山県立東備支援学校中学部	全学年	19人(12人)	
10月 8日(土)	岡山市立桑田中学校	美術部	14人(3人)	
	新見市立井倉小学校	1~5学年	11人(5人)	案内
	新見市立草間台小学校	1・2・3・5学年	16人(3人)	
10月12日(水)	岡山市立岡山後楽館中学校	全学年	228人(14人)	
	倉敷市立穂井田小学校	全学年	43人(8人)	対話型鑑賞
10月13日(木)	岡山市立旭竜小学校	6学年	24人(3人)	案内
	岡山市立馬屋上小学校	全学年	18人(7人)	案内
	岡山市立桃丘小学校	1・2学年	51人(6人)	
	新見市立神代小学校	全学年	24人(5人)	案内
	岡山大学教育学部附属中学校	全学年	535人(32人)	
	倉敷市立倉敷支援学校中学部	2学年	14人(7人)	
10月14日(金)	岡山市立財田小学校	3学年	86人(6人)	案内
	岡山市立岡山中央中学校	2学年	125人(8人)	

パブリックプログラム

月日	学校	学年等	児童生徒数(引率者数)	備考
10月14日(金)	岡山市立岡山後楽館高等学校	美術・イラスト部	10人(4人)	案内
	玉野市立胸上小学校	1・2・5学年	44人(5人)	案内
	玉野市立玉小学校	1・2学年	23人(4人)	
	津山市立清泉小学校	1～5学年	33人(8人)	案内
10月15日(土)	岡山大学教育学部附属中学校	美術部	20人(1人)	案内
10月16日(日)	岡山県立岡山芳泉高等学校	書道部	9人(1人)	アーティストとの交流会
	岡山県立岡山東商業高等学校	書道部	6人(1人)	アーティストとの交流会
10月18日(火)	岡山市立旭竜小学校	2学年	26人(4人)	案内
	岡山高等学院	全学年	13人(6人)	
	岡山県立東備支援学校小学部	4・5学年	15人(9人)	
10月19日(水)	岡山市立福田小学校	3学年	123人(8人)	
	岡山市立横井小学校	3学年	127人(9人)	
	瀬戸内市立今城小学校	4学年	22人(2人)	対話型鑑賞
10月20日(木)	岡山県立岡山盲学校中学部	全学年	11人(12人)	対話型鑑賞
	岡山市立東山中学校	美術部	13人(2人)	
	倉敷市立沙美小学校	全学年	20人(5人)	対話型鑑賞
10月21日(金)	小田郡矢掛町立山田小学校	3・4学年	26人(4人)	対話型鑑賞
	岡山市立岡山中央小学校	5学年	114人(5人)	
	岡山市立五城小学校	全学年	48人(9人)	案内
10月22日(土)	岡山市立御津南小学校	3学年	24人(3人)	対話型鑑賞
	岡山市立岡山中央中学校	3学年	144人(9人)	
	玉野市立鉾立小学校	5学年	11人(2人)	
	赤磐市立山陽小学校	4学年	73人(4人)	対話型鑑賞
	岡山県立東備支援学校高等部	1学年	12人(7人)	
	真庭市立落合中学校	アーツ&クラフツ部	14人(1人)	対話型鑑賞
	岡山県立岡山芳泉高等学校	美術部	10人(1人)	
10月25日(火)	岡山市立豊小学校	4学年	38人(3人)	案内
	高梁市立川上中学校	全学年	35人(10人)	
	就実小学校	5学年	46人(3人)	対話型鑑賞
10月26日(水)	岡山市立岡山後楽館高等学校	2学年	2人(1人)	
	瀬戸内市立裳掛小学校	全学年	26人(6人)	対話型鑑賞
	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	1学年	20人(1人)	
	就実小学校	4学年	21人(2人)	対話型鑑賞
10月27日(木)	岡山市立旭東小学校	3学年	20人(3人)	対話型鑑賞
	岡山市立御津南小学校	6学年	26人(3人)	対話型鑑賞
	倉敷市立南浦小学校	3・5・6学年	5人(4人)	案内
	就実小学校	6学年	30人(2人)	対話型鑑賞
10月28日(金)	岡山市立福島小学校	2学年	51人(5人)	対話型鑑賞
	岡山市立福田中学校	1学年	116人(8人)	対話型鑑賞
	岡山市立建部中学校	2学年	36人(5人)	
10月29日(土)	井原市立県主小学校	1～5学年	35人(8人)	
	倉敷市立多津美中学校	美術部	17人(1人)	
	朝日塾中等教育学校高等部	1学年	40人(3人)	
10月30日(日)	岡山市立妹尾中学校	美術部	14人(1人)	対話型鑑賞
11月1日(火)	岡山市立岡山中央小学校	3学年	125人(6人)	
	岡山市立御津南小学校	4学年	21人(3人)	対話型鑑賞
	倉敷市立倉敷支援学校高等部	2学年	28人(11人)	
11月2日(水)	岡山市立平島小学校	5学年	43人(3人)	対話型鑑賞
	倉敷市立大高小学校	4学年	188人(7人)	案内
	倉敷市立茶屋町小学校	5学年	169人(7人)	
	新見市立千屋小学校	全学年	17人(7人)	対話型鑑賞
11月8日(火)	岡山市立旭操小学校	6学年	92人(5人)	
	岡山市立旭竜小学校	4学年	23人(3人)	案内
	岡山市立岡山中央小学校	4学年	126人(11人)	
	岡山市立角山小学校	全学年	39人(8人)	案内

パブリックプログラム

月日	学校	学年等	児童生徒数(引率者数)	備考
11月8日(火)	岡山市立興除小学校	5・6学年	76人(3人)	対話型鑑賞
	岡山市立財田小学校	4学年	72人(4人)	
	岡山市立芳明小学校	6学年	83人(6人)	
	岡山市立御休小学校	3・4学年	35人(3人)	
	岡山市立城東台小学校	6学年	34人(3人)	
	岡山大学教育学部附属小学校	6学年	35人(4人)	
	岡山市立御休小学校	5学年	20人(2人)	対話型鑑賞
11月9日(水)	加賀郡吉備中央町立下竹荘小学校	1・2・3・4・6学年	13人(5人)	対話型鑑賞
	倉敷市立乙島小学校	5学年	68人(4人)	対話型鑑賞
	倉敷市立柳井原小学校	全学年	42人(7人)	
	岡山大学教育学部附属小学校	6学年	34人(4人)	
	加賀郡吉備中央町立津賀小学校	6学年	9人(2人)	対話型鑑賞
11月10日(木)	岡山中学校	2学年	76人(7人)	
	岡山県健康の森学園支援学校小学部	6学年	8人(6人)	
	岡山市立瀬戸中学校	1学年	120人(7人)	
11月11日(金)	倉敷市立多津美中学校	2学年	195人(12人)	
	岡山大学教育学部附属小学校	6学年	35人(5人)	
	岡山県立岡山支援学校高等部	全学年	6人(6人)	対話型鑑賞
11月15日(火)	岡山市立旭竜小学校	1学年	19人(4人)	
	岡山市立庄内小学校	3学年	82人(6人)	
	岡山市立芳泉中学校	1学年	18人(1人)	
	赤磐市立磐梨中学校	1学年	49人(5人)	
11月16日(水)	岡山市立馬屋下小学校	5学年	18人(2人)	対話型鑑賞
11月17日(木)	岡山市立岡山中央小学校	6学年	130人(8人)	
	岡山市立西大寺中学校	1学年	18人(0人)	
	屋久島おおぞら高等学校	全学年	10人(2人)	
11月18日(金)	岡山市立第二藤田小学校	3学年	48人(4人)	対話型鑑賞
	井原市立高屋中学校	1学年	46人(5人)	
11月22日(火)	岡山市立旭竜小学校	5学年	19人(3人)	案内
	岡山市立津島小学校	5学年	126人(9人)	案内
	岡山市立御津南小学校	5学年	18人(3人)	対話型鑑賞
	岡山市立豊小学校	5学年	39人(3人)	案内
	岡山市立山南学園	5学年	40人(3人)	対話型鑑賞
	赤磐市立磐梨中学校	2学年	53人(5人)	
	新見市立哲西中学校	1学年	11人(3人)	案内
	ノートルダム清心女子大学附属小学校	5学年	57人(3人)	対話型鑑賞
	岡山市立浮田小学校	3学年	26人(2人)	対話型鑑賞
	岡山市立富山小学校	2学年	109人(6人)	
11月25日(金)	岡山県立岡山盲学校小学部	3・5・6学年	3人(3人)	対話型鑑賞
	岡山市立雄神小学校	5・6学年	20人(4人)	
	岡山市立伊島小学校津島児童学院派遣学級	4～6学年	6人(7人)	対話型鑑賞
	岡山市立香和中学校	1学年	146人(10人)	
	岡山市立岡山中央中学校	1学年	116人(7人)	
	瀬戸内市立美和小学校	1～4学年	16人(3人)	対話型鑑賞
	朝日塾小学校	4・5学年	169人(11人)	
11月26日(土)	岡山市立岡山中央小学校	学童クラブ	30人(5人)	

合計 104校 7,255人(733人)

学校	岡山市内	岡山市外	計
小学校	36校3,337人	35校1,441人	71校4,778人
中学校	14校1,772人	7校 428人	21校2,200人
高等学校	7校 151人	0校	7校 151人
特別支援学校	2校 20人	3校 106人	5校 126人
	59校5,280人	45校1,975人	104校7,255人

※小学校は義務教育学校(中等部)を含む。
 ※中学校は中等教育学校(1学年)を含む。
 ※高校は中等教育学校(高等部)及び専門学校(高等課程)を含む。

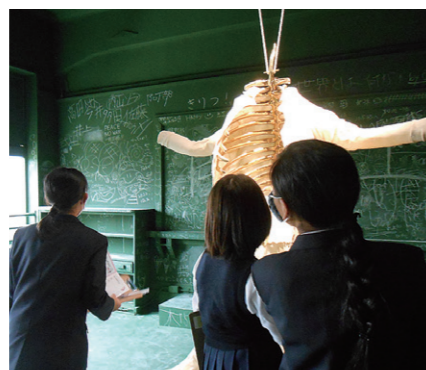
パブリックプログラム

来場校児童生徒の感想

- しばふに英語が書いてある作品がすごかった。その上で走ったり寝転んだりして楽しかった。
- 〇が窓にはってあった作品が心に残った。なぜかという、外のけしきによって見え方がちがうから。
- この一日でアートのすばらしさが分かった。これからはアートをさがしてみようと思う。
- クマさんがプールに寝そべて日向ぼっこをしているみたいでかわいかった。
- 丸い穴の開いた窓の影がとてもきれいだった。
- 昔の校舎と現代アートの組み合わせがおもしろかった。
- 不思議な作品やおもしろい作品があり楽しかった。
- 作品に込められた思いが何となく伝わってくるように感じられた。
- 作品の一部に自分になるということがおもしろかった。こんな表現の仕方もあるのかと思った。
- つくった人の個性がものすごく出ていて、これも芸術作品なんだとびっくりした。
- 常識にとらわれず自由に表現する素晴らしさを感じた。これからは現代アートに触れたい。
- 平面的な作品や立体的な作品、映像作品、体験型の作品、場所を生かした作品など、表現方法も多様でおもしろかった。
- 想像を膨らませて「これはこうかもしれない、ああかもしれない。」などと考えるのが楽しかった。
- アートには正解がないから自分でも何かつくってみたいくなった。
- 作者の意図や思いなど、目に見えないことを読み取る力を学ぶことができた。
- 家族ともう一度来て案内してあげたい。
※実際に休日に家族と再度来場した子どもが多くいたことが学校からの報告によって分かった。

引率教員の感想

- 事前に紹介動画を見て子どもたちは当日を心待ちにしていた。マイアートブックに気づいたことをメモしたり思いを書き込んだりして、帰校してからもそれをもとに友達同士で話をする事ができた。
- 児童にも分かりやすい解説で案内して下さったので、少し難しいと感じていた現代アートも楽しく鑑賞することができた。
- 本物に触れる貴重な体験や、芸術作品の楽しみ方を知る機会になった。
- 芸術を見る目を養うためには、こういった経験を早い時期にさせることが必要だと感じた。
- 対話型鑑賞では、児童が新たな気づきを得たり自由な発想を広げたりすることができた。
- 旧内山下小学校の各教室では、作家の世界が展開されていて、見て喜んだりどんなメッセージがあるのだろうと考えたりする様子が見られた。
- どの児童からも「また行ってみたい」という声があがり、芸術鑑賞に対してさらに興味・関心をもつことができた。帰校してからもよく話題にしていた。
- 生徒は「よく分からないことが楽しかった」と感動していた。来場後の学習として、印象に残った作品について調べて考察や感想を書いたり、芸術交流についてのプレゼンを作成したりする予定である。
- 児童の感想は素直かつ素朴で純粋な気持ちを感じた。「友達や先生の気持ちを大きく揺さぶることができる作品をつくろう」というめあてでアート制作も行った。
- 継続して開催されている「岡山芸術交流」の取組は貴重で有意義だと改めて実感できた。
- 視覚に障害がある児童にとっても芸術を味わえる貴重な機会だった。



パブリックプログラム

学校出前授業・教職員出前研修

一般社団法人みるを楽しむ!アートナビ岡山と協働し、県内小・中学校、特別支援学校7校へ出前授業を行ったほか、県内小学校、特別支援学校3校、岡山市教育研究研修センター研修講座参加の教職員に出前研修を行った。

学校出前授業

月日	場所	参加者
5月27日(金)	岡山市立御津南小学校	97人
5月31日(火)	岡山市立竹枝小学校	23人
6月 6日(月)	岡山市立妹尾中学校	95人
6月16日(木)	岡山市立馬屋上小学校	19人
7月 6日(水)	岡山市立馬屋下小学校	18人
7月 8日(金)	岡山県立岡山支援学校	3人
7月12日(火)	岡山市立豊小学校	81人

教職員出前研修

月日	場所	参加者
7月22日(金)	倉敷市立菅生小学校	14人
7月29日(金)	岡山県立岡山支援学校	25人
8月 3日(水)	岡山市立馬屋下小学校	10人
8月 4日(木)	岡山市ウエルポートなださき	21人



学校出前授業



教職員出前研修

児童養護施設の招待

岡山県内の児童養護施設を招待し、希望のあった3園39名が来場した。

施設名	月日	来場者数
わかば園	11月 6日(日)	4名
	11月19日(土)	1名
新天地育児院	11月19日(土)	8名
	11月23日(水)	5名
	11月26日(土)	2名
岡山聖園子供の家	11月23日(水)	6名
	11月26日(土)	13名

パブリックプログラム

図画工作科・美術科の指導事例集

小・中学校の図画工作科や美術科の授業で活用できる指導事例集を作成し、県内の小・中学校等にデータで送付した。過去の岡山芸術交流の作品を題材に、子どもたちが楽しみながら鑑賞をしたり鑑賞を活かして工作などの表現活動を行ったりする8事例を掲載。授業のねらいや流れ、指導のポイントなどを分かりやすく示すとともに、一人一台配備されたパソコンを活用できるように工夫した。

※来場校において、指導事例集を活用した授業を受けた児童生徒数 約3,300人

※来場した約7,300人の児童生徒のうち、約5,800人が岡山芸術交流紹介動画や指導事例集で事前に現代アートについて学習した。

マイアートブック

来場した子どもたちが作品を鑑賞して感じたことを記入することができるワークシート「マイアートブック」を作成し、来場前に学校に送付するとともに、会場の受付に置き、休日に来場した子どもたちも使用できるようにした。来場時には、作品を鑑賞しながら気づいたことをメモしたり、鑑賞後すぐに感じたことを書き込んだりする姿が見られた。また、学校に帰ってからの鑑賞の振り返りや学習のまとめにも活用された。



パブリックプログラム

◆地域へのアウトリーチ

会期前に一般市民向けとして市内の延べ10公民館へ出前講座を行ったほか、県内の大学等でも出前講座を実施した。受講者からは「岡山芸術交流に興味を持った。サポートスタッフとしても関わりたい。」や「楽しみ方を理解できたので、会場に出向きたい。」などの意見が多数あった。

公民館出前講座

月日	場所	参加者数
2022年 3月15日(火)	山南公民館	15名
	旭公民館	15名
3月22日(火)	西大寺公民館(街歩き鑑賞ツアー)	7名
4月18日(月)	津高公民館	4名
5月 6日(金)	山南公民館	15名
5月13日(金)	岡西公民館	12名
5月19日(木)	操南公民館	12名
6月 4日(土)	東公民館	5名
6月21日(火)	西大寺公民館	5名
6月23日(木)	福浜公民館	19名



大学等出前講座

月日	場所	参加者数	
2021年 11月11日(木)	山陽学園大学	32名	
	11月16日(火)	環太平洋大学	15名
	11月29日(月)	倉敷芸術科学大学	15名
2022年 6月21日(火)	中国学園大学	33名	
	8月24日(水)	屋久島おおぞら高等学校	94名
	12月16日(金)	倉敷芸術科学大学	18名



イベント

横断幕除幕式

開幕に向けて除幕式を開催。岡山市役所本庁舎に横断幕及び懸垂幕を掲出した。

日時 9月2日(金)9:40～

場所 岡山市役所本庁舎北側壁面



市民ホールパネル展

岡山芸術交流過去作品や会場風景などを写真パネルで紹介。また、チラシの配布に加えアーティストインタビュー動画や岡山芸術交流紹介動画の上映を行い、岡山芸術交流の魅力を発信した。

期間 9月5日(月)～6日(火)

場所 岡山市役所市民ホール



来場者数10万人達成記念セレモニー

累計来場者数10万人達成を記念して、セレモニーを実施。該当の来場者に記念品を贈呈し、記念撮影を行った。

日時 11月9日(水)9:30～

場所 旧内山下小学校プール



連携事業

続!おかやまケンコー大作戦

ぐるっとおかやまスマホdeウォークラリー【秋】第3シーズン「まち中のアート」

市民等の健康増進を目的に実施しているスマートフォンを使ったデジタルスタンプラリー(市内20か所)の第3シーズンのスポットとして岡山芸術交流2022展示会場の4か所を設定した。また、電子スタンプの数に応じてもらえる毎シーズン共通の特典に加え、今回特別に鑑賞券100名分を特典として設けた。

主催 岡山市保健管理課

実施期間 9月15日(木)～11月20日(日)

展示会場スポット 旧内山下小学校(634)、石山公園(651)、岡山城(623)、岡山天満屋(644)
(スタンプ獲得数)

参加者数 986人(うち鑑賞券応募者数 195人(男性96人 女性99人))

備考 岡山芸術交流コース(展示会場4か所をめぐるコース)を利用した「プロの指導で一緒にあるこう!」イベントを合わせて開催

岡山芸術交流コースのスポット



旧内山下小学校

石山公園

岡山城

岡山天満屋



いどばた会議

ハレノワプロ事業の第8回いどばた会議「アートな街 岡山」に登壇し、岡山城リニューアルオープンやハレノワ開館一年前カウントダウン企画と合わせて、岡山芸術交流2022をPRした。岡山城にも作品を展示するなど、街を盛り上げるために連携していくことを話し合った。当日の様子はYouTubeでライブ配信も行われた。

主催 公益財団法人岡山文化芸術創造

開催日 6月22日(水)

開催場所 さんかく岡山(北区表町3-14-1)

参加者数 55名



連携事業

岡山芸術交流特設コーナー

岡山県立図書館、岡山市立中央図書館において、過去の作品や展覧会の写真パネル掲出に加え、コンセプトブックや参加作家の作品カタログ、関連書籍の展示、貸し出しを行った。岡山市立中央図書館では、岡山芸術交流紹介動画やアーティストインタビューの動画を上映した。

岡山県立図書館

展示期間 9月30日(金)~11月27日(日)[10月31日、11月1日除く]

展示場所 岡山県立図書館 1階 閲覧室/人文科学資料部門

岡山市立中央図書館

展示期間 9月29日(木)~11月27日(日)

展示場所 岡山市立中央図書館 1階入り口展示コーナー



岡山県立図書館

岡山市立中央図書館

市民活動リーダー養成講座

岡山市市民協働企画総務課(ESD・市民協働推進センター)と連携し、市民活動リーダー養成講座を実施。

展示会場を巡りながらごみ拾いするボランティア体験や、地域活動を効果的に発信するためのInstagram講座を実施した。

ごみ拾いボランティア体験

日時 10月16日(日) 13:00~16:00
10月23日(日) 13:00~16:00

参加者数 16日 高校生12名
23日 大学生11名

協力 認定NPO法人グリーンバード(岡山チーム)



展示会場付近を歩いてごみ拾いを実施。

地域活動のためのInstagram講座

日時 11月6日(日) 13:00~16:00

参加者数 10名

講師 合同会社Liand 代表ISAKO



岡山芸術交流2022を題材として、効果的な情報発信の仕方についての講座を実施。

連携事業

岡山大学との連携

教養科目の授業で、実行委員会スタッフが岡山芸術交流における行政の役割等について講義を行ったり、会期中に、岡山芸術交流の作品鑑賞やディスカッションを行うワークショップを実施したりした。

担当教員 岩淵泰 地域総合研究センター副センター長・准教授

教養科目 「岡山SDGsまちづくり論」

実施日 5月9日(月)

講義内容 岡山芸術交流や作品の紹介、行政の支援と役割、文化が地域に与える影響等について

受講者数 約80名

教養科目 「岡山まちづくり論(2)」

実施日 10月29日(土)

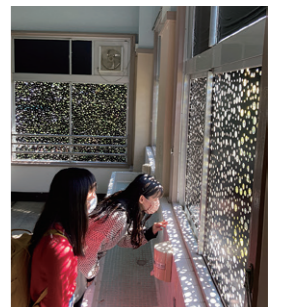
活動内容 作品鑑賞、会場周辺の散策、アートを通じた個人と地域の成長に関するディスカッション

※参加した学生は後日、レポートを作成

参加者数 8名

〈学生のレポートより〉

●外部の明るさを利用している作品は、天気や時間帯によって見え方が異なっていて、様々な想像を膨らませることができる。外からの光が明るく、静かな雰囲気を作っている。また、鑑賞者が外に目を向けることで効果が発揮される。作家の意図はわからないが、たくさんの〇は、たくさんの視点となって、窓の外の風景を切って眺めることができる点に私は感動した。様々な視点が、異なる見え方をする部分に、作品を「体験できる」という楽しさと、限られた視点で物事を考えてしまいがちな現代社会の風刺を感じた。(ダニエル・ボイド「無題(34° 39'53.9"N 133° 55'54.8"E)」を鑑賞して)



〈岩淵准教授より〉

●学生たちと一緒に岡山芸術交流を巡れたのはとても幸運なことだった。素直な議論を通して芸術の大切さを教えてくれたからだ。「芸術の評価は、鑑賞者にどれだけ影響を与え、心を動かしたかだ」「わからないことは逆に、理解を深めるためのチャンスだ」という、はっとさせられた言葉も飛び出た。鑑賞ワークショップに参加するまでの下準備やレクチャーも共にした学生たちが、3年後の芸術交流にぜひ参加したいと言ってくれた。次回のテーマも楽しみだ。ぜひ一緒に巡ろう。(参照:山陽新聞デジタル 2022年12月13日掲載 岩淵泰「岡山まちづくり探検」大学生と巡る岡山芸術交流(下)現代アートが教えてくれたこと)



高等学校との連携

岡山県立岡山芳泉高等学校と岡山県立岡山東商業高等学校の書道部の生徒が、参加アーティストのアブラム・クルズヴィエイガスからのメッセージをもとに、イメージを膨らませて作品を制作し、会場に展示した。岡山県天神山文化プラザでの書道パフォーマンスやアーティストと生徒との交流会も行った。



書道パフォーマンス[9月29日(木)]



アーティストとの交流会[10月16日(日)]



Ⅷ 来場者の状況